

早春の鎌倉・江ノ島参詣道の文化財探訪

実施日	2019年2月7日(木)	参加者	16名
コース	町田駅ー藤沢駅ー(江ノ電)ー腰越駅・満福寺、小動岬ー徒歩ー龍口寺ー常立寺ー江ノ島参詣道を探訪ー江ノ電鵜沼駅ー(江ノ電又は徒歩)ー小田急藤沢駅ー小田急線ー町田駅		
概要	真白き富士の嶺と伊豆半島を望む雄大な景観を見渡しながら腰越状で知られる義経伝説の満福寺、常立寺の枝垂れ梅、日蓮法難の龍口寺、江ノ島参詣道沿いの寺社・仏跡、弁財天道標、庚申塔など文化財探訪を楽しみましょう		
見所			
<ul style="list-style-type: none"> ・満福寺：悲劇の英雄義経は兄頼朝に疎まれ鎌倉入りを許されず腰越に留め置かれ頼朝の勘気が解けるように衷情をつづった書状「腰越状」で知られている。 ・小動岬：展望台から、見渡せば江ノ島、富士、七里が浜が一望である。 ・龍口寺：文永八年(1271)日蓮の龍の口法難の地に建武四年(1337)日蓮の弟子日法が敷皮堂を建立したのが始まり。五重塔((明治43年1910年)建立)などがある。 <p>【江ノ島参詣道沿い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常立寺：片瀬八ヶ寺の一つで日蓮宗、処刑された杜世忠らの元(モンゴル)国使の塚がある。早春にしだれ梅が花咲く。 ・密蔵寺：真言宗、元は本尊薬師如来と伝える(相模国風土記稿)。 ・庚申塔：泉蔵寺前の枡形牛王庚申塔・富士と枡が刻され珍しい。 ・江ノ島弁財天道標：藤沢宿から江ノ島に至る参詣道の道標。主に杉山検校が建てたものが要所要所に所在する。庚申塔と一緒に見て歩くのも興味深い。 ・諏訪神社、本蓮寺、一編上人地藏堂跡などが所在する 			



満福寺本堂の前で



龍口寺本堂内陣



常立寺の元(モンゴル)使の塚



小動(こゆるぎ)神社の狛犬実測調査